



# 「アシスティブテクノロジーアドバイザー」の育成事業

2020年度  
受講生  
募集



## 本研修について

本研修は、厚生労働省の委託による、福祉分野の従事者を対象とするICTを活用して障害者の自立・就労を支援するアシスティブテクノロジーアドバイザーの育成事業です。

障害者の自立・就労の支援に求められる知識を5分野に整理して（研修概要参照）、総学習時間120時間でアシスティブテクノロジーアドバイザーを養成します。

## 学習方法

時間の制約を受けずに学べるよう遠隔講義による「eラーニング」を中心として、実際の福祉機器や支援技術等に触れる「対面研修」を提供します。さらに、学習を支援するオンラインコミュニティとオンラインディスカッション、学習相談と質問受付、eラーニングのサポートを行います。

## 受講対象の業種・職種

医療・福祉分野の従事者、または障害者の就労支援に関心を有する**社会人**等。

## 受講費用について

本研修の受講は無料です。ただし、受講のための機材費・通信費、対面研修に参加する際の交通費は受講者負担となります。

## 2020年度スケジュール(予定)

2020年	4月～	・広報開始
	7月初旬	・受付開始
	7月中旬	・受講開始
	11月・1月	・対面研修実施
2021年	2月	・受講期間終了

くわしくはWebへ

ウェブサイトにて情報公開中 <https://at-advisor.jp/>  
右記QRコードを読み込んでウェブサイトにアクセスしてください。

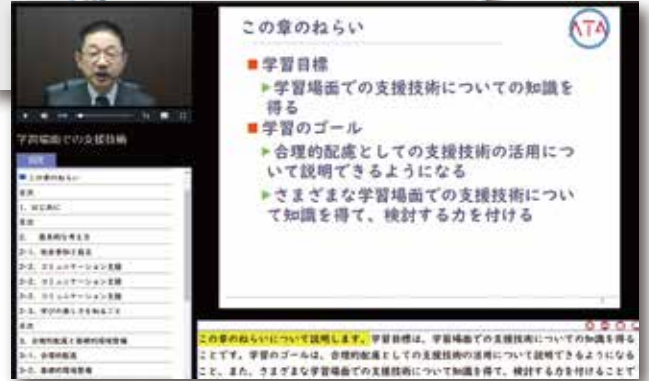
お問合せ

アシスティブテクノロジーアドバイザー事務局 担当:黒崎・上原  
メール: [fukushi-prj@kfcs.co.jp](mailto:fukushi-prj@kfcs.co.jp)  
電話: 026-231-6588



# 研修の概要

授業科目 (120時間)	
序	ATアドバイザーの意義と役割 支援技術について 障害者就労支援の現場から ATアドバイザー育成研修について
1	障害の理解 障害観の変化 社会の変化 障害の種類 法令・制度
2	テクノロジーの理解 テクノロジーと人間 アクセシビリティ 福祉機器と支援機器 支援機器を利用する上での注意点 機器の工夫・工作
3	ICTに関する支援技術 一般的なICT機器の支援への利活用 OS標準のアクセシビリティ機能 福祉機器として開発された情報支援技術、ICTを活用した実践例 Webアクセシビリティ
4	テクノロジーの理解 見ること 聞くこと コミュニケーション 動くこと 病気(病弱) 読み書き 重複障害
5	場面別の支援技術 学習場面での支援技術 就労場面での支援技術 日常生活場面での支援技術 ICT支援技術 対面研修
6	対面研修 困難別の支援技術 対面研修 場面別の支援技術 対面研修 インタビューについて
7	実習 インタビューの実際について 実習課題作成
8	総括 全体試験 満足度アンケート



▲対面研修イメージ

おためし受講はこちらへ



<https://at-advisor.jp/>

eラーニングと対面(実技)研修が  
ブレンドされた研修となります。

受講を希望される方はウェブサイトよりお申し込みください。